

令和3年度1月号



令和4年1月17日発行
横浜市立東汲沢小学校

“輝け！ひぐみっ子” だより

～東汲沢小学校教育目標「学びあい 高めあい まちとともにあゆむ ひぐみっ子」～

☎861-5531 <https://www.edu.city.yokohama.lg.jp/school/es/higashigumisawa/>



人が人に会うことで開かれる新しい世界

校長 丹羽正昇

私の好きな作家に、沢木耕太郎氏があります。彼の代表作「深夜特急」は、ユーラシア大陸を横断するスケールの大きな物語で、高校生だった私にとっては、あまりにも新しい世界の出現でした。年頭にあたり、どうして沢木氏のことを書こうと思ったのか。それは、10代の頃の記憶の中にあった沢木氏の世界観と次に引用する彼の言葉に垣間見える、ものごとの見方・考え方に共感したからかもしれません。

「すべての始まりは会うことからだ。ひとりひとりが会う。会って、話を始める。そこから『セッション』が開始され、その場にどのような音色を響かせあうかが決まっていく。会って、話しはじめるまで、そのセッションがどのように展開していくか誰にもわからない。それが『会って、話す』ことのスリルであり、うまくいったときの快感にもなりうるのだ。」（「達人、かく語りき」沢木耕太郎 岩波書店 2020）

人が人に会い、話したり聞いたりする中で生み出される価値ある世界。学校の存在理由は、きっとその価値ある世界が、子ども同士の中で生まれるところにあります。だからこそ、ひぐみっ子には、自分が他の人に会うことの楽しさ、本当に楽しい世界は他の人を理解することで生まれることを知ってほしいのです。そして、私をはじめとする周りの大人は、自分の価値観を無理に押し付けることなく、子どもたちが創り出す世界におけるスリルと快感を、笑顔で見守るようにしたいと思います。皆様に素敵な出会いがありますように。今年もよろしくお願いいたします。